



# 5月は赤十字運動月間です。

日本赤十字社の活動は、皆さまからの「活動資金(会費)」によって支えられています。

## 会費(社費)とは？

日本赤十字社では、ご協力いただく目安として500円以上拠出されたものを「会費(社費)」として取扱い、この会費(社費)とその他寄付金を合わせたものが日本赤十字社の活動資金となります。

## 会費(社費)を納めるとどうなるの？

赤十字の目的に賛同し、会費を納め、赤十字の支援者になっていただくことは、赤十字の掲げる「人のいのち、健康、尊厳を守る人道的事業」に参画し、国内はもとより国際的な赤十字運動の仲間入りをするということに意義があります。

## 大津町における活動資金の募集にご協力をお願いいたします。

大津町で集められた活動資金は、救急法などの講習会を始め、災害発生時の救済物資や、被災世帯に対する毛布・日用品セット等の配布などに活用されます。

大津町分区での活動資金(会費)募集期間

**5/10(木)～6/29(金)**

土・日曜を除く午前9時～午後5時まで

※事前にご連絡を頂いた場合は土曜にお受けすることができます

・会費 一世帯あたり 500円

・特別会費 2,000円

<受付窓口>

日赤大津町分区(大津町社協内)

大津町室151-1 ☎096(293)2027

赤十字の目的に賛同し、活動資金の拠出にご協力いただける団体・法人の皆さまも募集しております。

いざという時、  
大切な人の命を守るために...

## 大津町赤十字講習会のお知らせ

### ① 救急法講習会(短期講習)

救急や突然の事故に備えて、手当の基本、人工呼吸や心臓マッサージの方法、AEDを用いた除細動などの知識と技術を学びます。

- とき 平成30年6月18日(月)  
午後1時～午後3時まで
- ところ 大津町老人福祉センター
- 募集定員 30名
- 申込期日 平成30年6月8日(金)



▲昨年度講習会の様子

### ② 幼児安全法講習会(短期講習)

幼児に起こりやすい事故や病気に対する手当の方法や事故防止、家庭内での看護の方法など、日常生活で役立つ知識や技術を学びます。

- とき 平成30年6月20日(水)  
午前10時～正午まで
- ところ 大津町老人福祉センター
- 募集定員 10名(託児あり・要予約)
- 申込期日 平成30年6月8日(金)

参加費は無料です。参加ご希望の方は、日赤大津町分区までお申し込み下さい。

- 申込・問合せ先：日赤大津町分区(大津町社協内)☎096(293)2027



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

お寄せいただいた大切な活動資金は「救うことを、つづける。」ため、さまざまな赤十字活動に使われています。



国内災害救護

救護班・救護物資を被災地に



災害などが発生した際、いち早く医療救護活動を行うために救護班を派遣するとともに、被災された方の心のケアも行います。救護物資の配布、義援金の受け付けも大切な活動の一つです。

災害救護訓練



一人でも多くの人を救えるように、全国で編成された、約500班(約7,000人)の医療救護班が、各防災機関と協力して救護訓練を行っています。「いざ」という時のために備えた日ごろの取り組みが大切です。



救護物資をすぐ被災者に届けられるよう、日ごろからたくさんの毛布や安眠セット、緊急セットを備蓄しています。

防災・減災セミナー



地域の防災力向上を目指して、自治会や団体を対象に防災セミナーもおこなっています。自身を守る「自助」、地域の皆さんの協力による「共助」の力はとても重要です。



救急法などの講習

ひとりでも多くのいのちを守るため



日常生活における事故防止や手当の基本、心肺蘇生、AED(自動対外式除細動器)を用いた除細動、災害時の心得などの知識と技術が学べます。



赤十字ボランティア

奉仕団・防災ボランティアなど



赤十字のボランティアは、身近な地域が活動現場。熊本では約1万5千人が「誰かの役に立ちたい」という想いを行動に移しています。奉仕団は災害時には「防災ボランティア」として救護活動を支援します。



青少年赤十字



看護師などの教育



国際活動

国境や民族、宗教などの違いを越えて



このほかにも、赤十字病院、血液事業、健康管理事業を行っており、皆さまの身近なところで「いのち」と「健康」を守る活動を続けています。病院、血液センター、健康管理センターは特別会計で別途経理され、皆さまからの会費(寄附金)が充てられることはありません。



紛争や自然災害、病気などで苦しむ人々を救うため、191の国と地域に広がる赤十字のネットワークを生かし、世界各国で活動を続けています。



Bangladesh南部避難民支援  
ミャンマーから Bangladesh に逃れてきた避難民の数は65万人以上。食糧支援や衛生キットの配布支援のほか、熊本からも要員を派遣し支援を継続しています。



Japanese Red Cross Society

問い合わせ先

■日本赤十字社熊本県支部 ☎096(384)2100

■大津町分区 ☎096(293)2027



# あなたのまちの ボランティアセンター

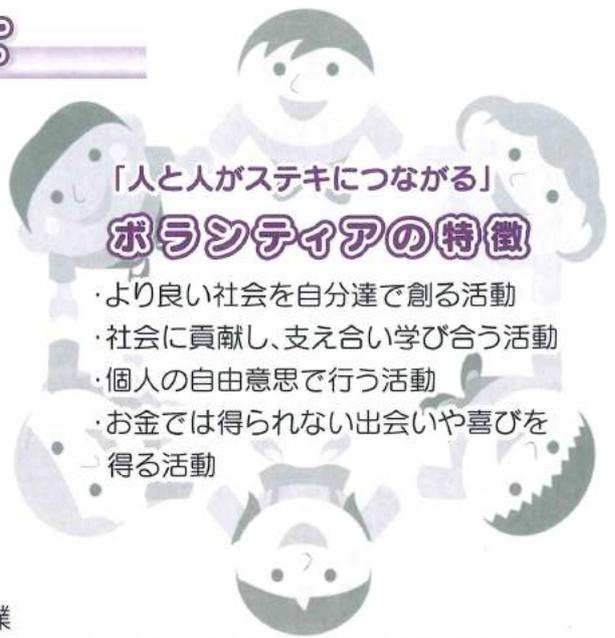
問い合わせ先 ☎096(293)2027

## ボランティアセンターについて

ボランティアセンター(通称:ボラセン)は、地域住民の社会参加を応援する窓口です。ボランティアに関する「相談やコーディネート」「情報提供」「広報活動」「講座や研修会」などを行っています。ぜひご活用下さい。



ボラセンは住民と地域をつなぐ役割があります。



### 「人と人がステキにつながる」 ボランティアの特徴

- ・より良い社会を自分達で創る活動
- ・社会に貢献し、支え合い学び合う活動
- ・個人の自由意思で行う活動
- ・お金では得られない出会いや喜びを得る活動

#### ▼社会福祉施設等体験事業



#### ▼ボランティア活動推進セミナー事業



▲ボランティア交流会事業

その他、・ボランティア養成講座事業  
・ボランティア協力校事業 など  
共同募金地域配分金を活用し実施しています



## ボランティア保険について

例えば・・・  
転んでケガをして通院した 誤ってモノを壊した

### 「ボランティア活動が安心して行えるように!!」

大津町社会福祉協議会でボランティア登録をした個人、団体または社協が認めるボランティア活動をされるみなさんにボランティア保険をお勧めしています。



#### ボランティア活動保険

ボランティア活動中の様々な事故によるケガや損害賠償責任を補償

保険料: Aプラン 350円 天災A 500円  
Bプラン 510円 天災B 710円

補償期間: 加入手続き完了翌日 ~ 3月31日まで

#### ボランティア行専用保険

地域福祉活動やボランティア活動の様々な行事における補償

主催者や参加者のケガ・主催者の賠償責任  
保険料: 1日1人あたり28円から  
(最低加入人数20名から)